

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 **新**働く世代の健康増進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111 (内 2548)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	20,000	0	0	0	0	0	0	0	20,000
決定額	3,500	0	0	0	0	0	0	0	3,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、不要不急の外出の自粛が求められ、運動習慣の低下が指摘されている。

県では岐阜県健康増進計画として「第3次ヘルスプランぎふ21」(計画期間平成30年～令和5年度)を策定し、「健康寿命の延伸」を目的として、県民の健康づくり施策を推進している。

その一環として職場における健康づくりを支援するため「清流の国ぎふ健康経営推進事業」を進めているが、運動機会の提供に対する取組みが少ない現状がある。

そのため、働く世代の職場での運動機会の提供を促進することにより、「ヘルスプランぎふ21」の指標としている習慣的に運動する人の増加を図る。

(2) 事業内容

講師を派遣できる事業者に委託し、希望する健康経営宣言企業に対し、スポーツジム事業者などの講師を派遣して健康教室を開催する。

健康教室の内容は、委託した事業者が希望する健康経営宣言企業と調整して決定する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国が策定した「健康日本21」と都道府県健康増進計画である「ヘルスプランぎふ21」は連動しており、健康寿命の延伸、生活の質の向上等という目的を達成するため県で事業展開を行う。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	36	業務旅費
需用費	364	消耗品費
役務費	400	通信運搬費
委託料	19,200	健康教室事業委託（講師派遣、講義・トレーニング体験）
合計	20,000	

決定額の考え方

対象企業数を精査し所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第3次ヘルスプランぎふ21」
生涯を通じた健康づくりの推進
健康を支える社会環境の整備

(2) 国・他県の状況

国は健康日本21（第2次）、都道府県は各都道府県健康増進計画を策定。

(3) 後年度の財政負担

コロナ禍における運動習慣の低下に伴う職場での運動機会の提供の促進事業のため、単年度事業とする。

(4) 事業主体及びその妥当性

実施主体：県

県計画に基づき健康づくりを推進するため、県が主体となって事業を行う。

事業評価調査書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

働く世代が多く時間を過ごす職場での健康づくりの取組みを支援し、企業による従業員への運動機会の提供を促進することにより、習慣的に運動する人の増加を目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
習慣的に運動する成人の増加 20～64歳 男性	23.0% (H30)				36%以上 (R5)	% —
習慣的に運動する成人の増加 20～64歳 女性	17.8% (H30)				33%以上 (R5)	% —

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

(前年度の成果)

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	ヘルスプランぎふ21は健康増進法第8条に基づく都道府県健康増進計画である。 効果的に計画を推進するために、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	ヘルスプランぎふ21に基づく推進体制として、健康経営宣言企業と連携して事業を進める。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	ヘルスプランぎふ21に基づく推進体制として、健康経営宣言企業と連携して事業を進める。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の拡大により、運動習慣の低下が指摘されており、健康経営宣言企業におけるより一層の運動機会の提供を促進する取り組みが必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	